

令和5年度 第4回堺市文化芸術審議会 議事録

1 開催日時

令和6年3月22日（金）10時30分～12時00分

2 開催場所

堺市役所本館3階第1会議室

3 出席委員（50音順・敬称略）

雨森 信 委員	（ブレイカープロジェクト ディレクター インディペンデントキュレーター）
永井 泉 委員	（公募委員）
永島 茜 委員	（武庫川女子大学准教授）
坂東 亜矢子 会長代理	（演劇評論家）
藤野 一夫 会長	（芸術文化観光専門職大学副学長）
藤原 麻喜子 委員	（公募委員）
山口 洋典 委員	（立命館大学共通教育推進機構教授）

4 出席議事関係者（50音順・敬称略）

上田 假奈代 （堺アーツカウンシル プログラム・ディレクター）

5 事務局職員

文化観光局長、文化課長、文化課参事 ほか

6 関係者

公益財団法人堺市文化振興財団事務局長、総務課長、事業課長、事業課係長、堺市民芸術文化ホール企画制作担当課長

7 議題

- （1）令和5年度堺市文化芸術審議会の答申案について
- （2）令和6年度堺市文化芸術活動応援補助金の採点について 等

開会

＜事務局より説明＞

議題

(1) 令和5年度堺市文化芸術審議会の答申案について

◎藤野会長

それでは議題に入ります。

「議題(1)令和5年度堺市文化芸術審議会の答申案について」審議します。事務局から説明をお願いします

＜事務局より説明＞

◎藤野会長

ご説明ありがとうございました。ただいま詳しく触れていただきましたように「おわりに」のところを加筆させていただいております。アーツカウンシルの活動を高く評価すべきというところで、ただそれをどういうふうに周知するかという部分が HP の公開だけではもったいないかと思っております。本当は冊子になっているといいのかもしれませんが、そこは予算措置の問題がございますので、媒体の工夫によってという少し柔らかい表現になっております。

「おわりに」の「文化芸術振興事業(フェニーチェ堺)」部分については「講座を開催する等、集客目標の達成に向けた検討を要する。これらのことから、「多くの人に魅力を伝える」という重点的方向性に資する取組が行われているといえるが、更なる工夫を期待したい。」という内容でいきたいと思います。その他、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

○山口委員

よろしいでしょうか。12 ページの(3)「文化芸術振興事業(フェニーチェ堺)」のところで1行改行が入っているように思われるので、おそらく(3)の続きですね。詰めて頂ければと思います。

そのあとの 13 ページのところで最後の一文ですけれども、「ただし、」のところで「連携によって」の「に」が抜けているかと思います。

ただ、(2)のところだけ(1)、(2)、(3)と並べると文量が少ないというのが気になります。第2段落目が一文だけで終わっているのも、前回の議論にもあったとおり、ニーズに応えた3つのコースでコーディネートされていること、課題だけが記載されているように思われるので、方向性として、審議会としては適切であると考えているというところが、まずは一文あったほうが

良いかと思います。前回の議論を踏まえた上では、ニーズに応えたコーディネートができていないのは言うまでもなく、重点的方向性に向けた着実な事業が行われている「一方で」と繋げるか、「一方で」の後に最後の一文を添えるかくらいの修正であれば、新しいことを言っているわけではないと思います。私も錦西小学校を視察しましたので、もっと言えるところあるんですけど、あまり修文しすぎるといけないので、あくまで一つの提案です。前回の内容を踏まえるとニーズに応えたコーディネートができていない点と、重点的方向性に向けた取組が確実にできている点を書いておかないと課題だけが並べられている印象があるので、もし可能であれば付け加えていただけると幸いです。

◎藤野会長

はい、ありがとうございます。事務局いかがでしょうか。

●事務局

ご意見を踏まえ、修正致します。

◎藤野会長

他いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、今いただいたご意見を踏まえて修正をいたしまして、会長一任ということでよろしくお願い致します。

（２）令和６年度堺市文化芸術活動応援補助金の採点について 等

非公開情報を含むため非公開とする。